



2023年6月29日

各 位

会 社 名 **株式会社エイチワン**
代表者名 代表取締役社長執行役員 金 田 敦
(コード番号 5989・東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長
太 田 清 文
(TEL 048-643-0010)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2023年6月29日付で、関東財務局に提出いたしました2023年3月期(第17期)の内部統制報告書において開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は北米地域に連結子会社4社を有し、4社の財務数値を北米子会社グループとして連結した上で当社グループの連結財務諸表に取り込んでおります。2023年3月期に係る期末日直前に、北米の連結子会社を統括しているケー・ティー・エイチ・パーツインダストリーズ・インコーポレーテッド(以下、KTH社)において、決算・会計業務を統括するマネージャー及び担当職員が退職し、十分な引き継ぎが行われなかったこともあり、北米連結子会社各社及び北米子会社グループの連結財務数値の確定に時間を要し、結果、当社の定時株主総会で年次決算の報告ができず継続会を開催することとなりました。また、北米子会社グループでの財務数値の検証に係る内部統制が十分に機能しなかったため、退職給付債務の計算誤りや棚卸資産の単価計算誤り等の複数の会計処理誤りが会計監査人の監査の過程にて判明し、決算短信を訂正することとなりました。

決算確定の遅延及び決算短信の訂正に至った要因は、当期に入り、米国での労働需給が逼迫化する中、KTH社ではベテランの経理担当者の離職により決算・会計業務に係る要員が入れ替わる一方で、新たに導入した在庫管理システムの対応等により経理業務の負荷が急増していたにも関わらず、親会社である当社は北米連結子会社のこうした状況変化や財務報告リスクの高まりに対しての適時適切な認識及び支援が十分ではなかったことにもあります。

以上から、北米連結子会社における決算・財務報告プロセスにおいて内部統制が適切に運用されなかった不備に加え、親会社の北米連結子会社の状況変化に伴うリスクの識別と対応に不備があったと判断し、これらの不備の財務報告に与える影響の重要性を鑑み、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 当事業年度末に是正できなかった理由

当事業年度末日後に発覚したため、当該不備を当事業年度末日までに是正することができませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、北米連結子会社の決算業務の適正化にむけて体制及びシステム環境を早急に整備運用できるよう、親会社としても状況の適時適切な把握に努め支援して参ります。

4. 連結財務諸表及び財務諸表に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、すべて連結財務諸表等に反映しております。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上